

## 安全データシート

作成日 2001年 4月 20日

改訂日 2024年 4月 1日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	シールはがし（スーパークリーナー）
品番	NS-200
コード	28-055
会社名	プラス株式会社
住所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28虎ノ門タワーズオフィス12F
担当部門	CSR本部 品質保証部
緊急連絡電話番号	03-5860-8005
FAX番号	03-5860-8013
E-mail	env_psc@plus.co.jp
整理番号	G06D0109
推奨用途及び 使用上の制限	シールはがし、落書き消し、のり落とし

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

エアゾール : 区分1

引火性液体 : 区分2

## 健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 分類対象外

急性毒性（経皮） : 分類対象外

急性毒性（吸入：ガス） : 分類対象外

急性毒性（吸入：蒸気） : 分類対象外

急性毒性（吸入：粉じん） : 分類対象外

急性毒性（吸入：ミスト） : 分類対象外

皮膚腐食性・刺激性 : 区分2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2

呼吸器感作性 : 分類対象外

皮膚感作性 : 区分1

生殖細胞変異原性 : 分類対象外

発がん性 : 分類対象外

生殖毒性 : 区分2

特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分1（中枢神経系、全身毒性）  
区分3（麻酔作用、気道刺激性）特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分1（血液系）  
区分2（血管、肝臓、脾臓）

誤えん有害性 : 区分1

## 環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性） : 区分1

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分1  
オゾン層への有害性 : 分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール

高压容器：熱すると破裂の恐れ

皮膚刺激

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

臓器の障害（中枢神経系、全身毒性）

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（血液系）

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器、肝臓、脾臓）

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意（SDS等）を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。

使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

## 【応急措置】

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

無理に吐かせないこと。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

漏出物を回収すること。

## 【保管】

換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。

日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。

施錠して保管すること。

## 【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名 : エアゾール混合剤

成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量 (wt%)	官報公示整理 番号	安衛法 対象物質	PRTR 法	毒劇物
2-プロパノール	67-63-0	70-80	2-207	該当	非該当	非該当
石油系炭化水素	-		-	該当	非該当	非該当
エチルベンゼン	100-41-4		-	該当	非該当	非該当
ノナン	111-84-2		-	非該当 (※)	非該当 (※)	非該当
トリメチルベンゼン	95-63-6 526-73-8		-	該当	該当	非該当
キシレン類（混合体）	1330-20-7		-	非該当 (※)	非該当 (※)	非該当
d-リモネン	5989-27-5		3-2245	非該当	非該当	非該当
2,6-ジ-tert-ブチル- 4-メチルフェノール	128-37-0	3-540 9-1805	非該当 (※)	非該当	非該当	
プロパン	74-98-6	20-30	2-3	非該当	非該当	非該当
ブタン	106-97-8 75-28-5		2-4	該当	非該当	非該当

※の成分について、対象割合以下の含有量のため非該当とする。

---

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 石けん水で充分洗浄すること。
- 眼に入った場合 : 直ちに多量の水で洗浄し、医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口の中に残った物は取り除き直ちに医師の診察を受けること。  
嘔吐物は飲み込ませないこと。

---

#### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴射、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 加熱および火災により、有害な蒸気/ガスが生成されることがある。  
加熱により、容器が破裂するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 風上から水を噴射して容器を冷やししながら周囲の消火を行う。  
周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移動する。
- 消火を行う者の特別な : 消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、  
自給式呼吸器（SCBA）を着用する。

---

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、 : 作業の際には適切な保護具を着用する。  
保護具および緊急措置
- 環境に対する注意事項 : 安全を確認してから、流出防止の措置をとる。  
下水や水路、土壌への排出を避ける。
- 封じ込め及び浄化方法・機材 : データなし
- 二次災害の防止方法 : 全ての着火源を取り除く。  
噴射剤は空気より比重が重く滞留のおそれがあるので、換気・拡散等を行う。  
風上から作業を行い、風下の人を退避させる。  
漏出した場合の周辺でロープ等を用いて立ち入り禁止措置を講じる。  
少量の場合、布等の吸収剤で拭き取る。残った汚染を除去する為に床をよく清掃  
すること。大量の場合、危険を伴わずにできる場合には、物質の流れを止める。  
可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。プラスチックのシートで覆い、  
拡散を防止する。パーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸  
収し、廃棄のため容器に収める。

---

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### 【取扱い】

- 吸入飲用不可
- 人体に向けて使用しないこと。
- 換気の良い場所で使用すること。
- 炎や火気の近くで使用しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

火の中に入れてないこと。

使い切ってから、ガスを完全に抜いて捨てること。

#### 【保管】

直射日光の当たる場所や火気等の近くなど 40℃以上となる所に置かないこと。

錆の発生しやすい水・湿気の多い所では破裂の原因となるので、置かないこと。

子供の手の届かない場所に保管すること。

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 管理濃度と許容濃度

	内容液	噴射剤
管理濃度	200 ppm（作業環境評価基準） （2-プロパノール）	-
日本産業衛生学会	400 ppm 980 mg/m <sup>3</sup> （2-プロパノール）	500 ppm（ブタン）
ACGIH（TLV-TWA、TLV-STEL）	TWA:200 ppm A4（2-プロパノール） STEL:400 ppm A4（2-プロパノール） TWA:100 ppm（ミネラルスピリッツ） TWA: 2 mg/m <sup>3</sup> （IFV）（2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール）	TLV-TWA : 1000 ppm （プロパン） TLV-TWA : 800 ppm（ブタン）

設備対策 : 屋内で使用する場合は、換気を良くする。

#### 保護具

呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク

手の保護具 : 耐溶剤性保護手袋

眼、顔面の保護具 : 側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型保護眼鏡または保護面

皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣、必要に応じて保護服及び保護長靴

### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : エアロゾル（内容物：液体）

色 : 無色透明

臭い : データなし

融点／凝固点 : データなし

沸点、初留点及び沸点範囲 : データなし

可燃性 : データなし

爆発下限界及び上限界、 : データなし

可燃限界

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール、	: データなし
水分配係数	
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 約0.78
相対ガス密度（空気=1）	: データなし
粒子特性	: データなし
その他の情報	
製品 圧力（25℃）	: 0.26±0.05 MPa

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 強酸化剤との接触を避ける。 二酸化塩素とは激しく爆発（プロパン） ニッケルカルボニル+酸素との混合ガスは爆発を起こす。（ブタン）
化学的安定性	: 常温では安定（通常取り扱いにおいては安定）。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 燃焼（爆発）範囲内にあつて着火源があると、燃焼・爆発するので、その条件を避ける。
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 燃焼などにより一酸化炭素等の有害ガスを発生する恐れがある。

---

## 11. 有害性情報

急性毒性	: 分類できない
皮膚腐食性・刺激性	: 区分2 ヒト パッチテスト；痛みなど
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分2 ウサギでの眼刺激性試験では、軽度から重度の刺激性の報告があるが、重篤な損傷性はない。
呼吸器感受性	: データなし
皮膚感受性	: 区分1 Cat. 1；CICADs NO.5
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 区分2 ラットでの発育毒性・催奇形性試験では、催奇形性はなかったが、親動物に体重増加の低下、麻酔作用等の毒性を示した用量で、妊娠率の低下、吸収胚の増加、胎児死亡の増加等の生殖毒性が認められた。
特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	: 区分1（中枢神経系、全身毒性） 区分3（気道刺激性） ヒトで急性中毒として中枢神経抑制（嗜眠、昏睡、呼吸抑制等）、消化管への刺激性（吐き気、嘔吐）、血圧、体温低下、不整脈等循環器系への影響を含み、全身的に有害影響を生じる。

また、吸入ばく露により鼻、喉への刺激性（咳、咽頭痛）を示すことから、気道刺激性を有する。

特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	: 区分1（血液系） 区分2（血管、肝臓、脾臓） ラットでの吸入暴露試験で、配合している2-プロパノールにおいて100mg/m <sup>3</sup> 以上で白血球数の減少がみられ、500mg/m <sup>3</sup> 群では呼吸器（肺、気管支）、肝臓、脾臓に血管、肝臓、脾臓に影響が認められたとの記述から標的臓器は血液系、呼吸器、肝臓、脾臓であると判断し、血液は区分1、呼吸器、肝臓、脾臓は区分2とした。
誤えん有害性	: 区分1 ヒトの摂取により肺への吸引を起こし、その結果油性肺炎又は化学性肺炎をもたらすとの報告がある。

## 12. 環境影響情報

### 生体毒性

水生環境有害性 短期 （急性）	: 2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール 甲殻類（オオミジンコ）EC50=0.84 mg/L/48 h r d-リモネン 甲殻類（オオミジンコ）EC50=0.421 mg/L/48 h r 噴射剤：データなし
--------------------	---

水生環境有害性 長期 （慢性）	: 2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール 魚類（メダカ）ELS NOEC=0.053 mg/L 噴射剤：データなし
--------------------	--

### 残留性・分解性

: 2-プロパノール
分解性 BOD5 : 0.16g O <sub>2</sub> /g (7%) BOD20 : 1.68g O <sub>2</sub> /g (70%) 理論的酸素要求量 : 2.4g O <sub>2</sub> /g 蓄積性 : なし 魚毒性 : LC50 (fathead minnow) : 11130 mg/L (96h)
d-リモネン
急速分解性なし
2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール
急速分解性なし

### 生態蓄積性

: 2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール
log Kow=5.1;BCF=2800
d-リモネン
log Pow=4.2

### 土壤中の移動性

: 2-プロパノール
log Kow: 0.05

### オゾン層への有害性

: データなし
---------

## 13. 廃棄上の注意

- 注意 : スプレーの廃棄時は、中身を使いきってから火気のない屋外で噴射音が消えるまでガスを完全に抜いてから廃棄する。
- 残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。  
本製品の廃液は廃油と廃プラスチック類の混合物（管理型産廃）に分類される。  
70℃以下の引火性成分を含む場合は特別管理型産廃に分類される。  
乾燥物は廃プラスチック類（安定型産廃）に分類される。
- 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収にまわす。  
管理型・安定型の区分を示す。  
外箱、紙管など紙製容器・包装：回収又は紙くずとして処理。  
（単体で管理型産廃、付着成分がある場合も管理型産廃）  
金属缶、金属ドラム、金属チューブ類：金属くずとして処理。  
（単独で安定型産廃、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

- 国連番号 : UN1950
- 品名（国連輸送名） : エアゾール
- 国連分類 : クラス 2.1（引火性エアゾール）
- 容器等級 : 非該当
- 緊急時応急指針番号 : 126
- 海洋汚染物質（該非） : データなし
- MARPOL 73/78 : データなし
- 附属書Ⅱ及びIBC  
コードによるばら積み  
輸送される液体物質  
（該当・非該当）

## 国内規制

- 陸上輸送 : 消防法、道路法に定められている輸送方法に従う。
- 海上輸送 : 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
- 航空輸送 : 航空法に定められている輸送方法に従う。
- 輸送又は輸送手段に関する : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように



特別の安全対策 積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
重量物を上積みしない。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法 : 施工令 別表第一 危険物（第一条、第六条、第九条）  
・引火性の物、可燃性のガス  
有機溶剤中毒予防規則（有機則）  
・第二種有機溶剤等  
名称等を通知すべき、およびリスクアセスメントが必要な危険物及び有害物  
(57 条の 2、3)  
・2-プロパノール  
・ミネラルスピリット（重質ナフサ）  
・エチルベンゼン  
・ノナン  
・1,2,4-トリメチルベンゼン  
・キシレン  
・ブタン  
名称等を表示すべき危険物及び有害物（57 条）  
・2-プロパノール  
・ミネラルスピリット（重質ナフサ）  
・エチルベンゼン  
・ノナン  
・1,2,4-トリメチルベンゼン  
・キシレン  
・ブタン  
化学物質管理促進法 : 該当しない  
(P R T R 法)  
毒物および劇物取締法 : 該当しない  
高圧ガス保安法 : 適用除外  
消防法 : 第 4 類第 1 石油類危険等級Ⅱ 35mL  
噴射剤 : 適用（消防法第 9 条の 3 : 圧縮アセチレン等の貯蔵等の届出）

## 16. その他の情報

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。  
また、注意事項は通常の取扱を前提としたものなので、これらを参考にし、自らの責任において用途、用法に適した安全対策・適切な処置の実施をお願い致します。  
※本書式は、JIS Z7253 : 2019 要求事項に準じて作成しております。